日本物理学会物理学史資料委員会ニュース

No. 11

編集・発行 日本物理学会物理学史資料委員会

2026 年 10 月 23 日

一般社団法人 日本物理学会 物理学史資料委員会では、年3〜4 回の委員会議において、主として日本国内の物理学史資料の保管・収集などに関して情報交換を行っています。『日本物理学会物理学史資料委員会ニュース』は、その情報の一部をウェブ上で紹介するために刊行されています。また、国内の関係機関からの情報も掲載しています。

正確な内容をお届けするよう心がけますが、速報性を重視した構成とするため、情報が十分でない可能性があります。詳細については、関連する機関等に別途ご確認いただけますようお願い申し上げます。

《目次》

● 国立科学博物館における国際量子科学技術年記念企画展について（続報）
● 国立科学博物館における物理学史関係常設展示の一部閉鎖について
● 鈴木増雄先生資料目録（仮）について
● 西川正治の X 線分光計
● 流体物理学者・今井功の個人資料

（原稿受付順）

● 国立科学博物館における国際量子科学技術年記念企画展について（続報）

2025 年 10〜11 月、国立科学博物館において「国際量子科学技術年」を記念する企画展「量子の世紀」が開催された（日本物理学会共催）。

量子物理学関係を中心に、物理学史上の多くの資料が列品された。また、翻訳家の青木薫氏および東京理科大学教授・日本物理学会理事の山本貴博氏を迎えた記念講演会などの関連企画が催された。

また、開催にあわせ、特設ページ「企画展『量子の世紀』の内容をより詳しく」が公開された。関心層への読書案内として、『日本物理学会誌』の「歴史の小径」欄など物

理学史関係のコンテンツへの誘導が行われている。

なお、本企画展についてはVR展示が制作・公開されており、Webページ上で展示を観覧することができる。

（参考URL）

・企画展「量子の世紀」の内容をより詳しく（『日本物理学会誌』所収記事を中心とする文献案内）：https://www.kahaku.go.jp/plan/2025/10quantumcentury/reference/

・企画展「量子の世紀」VR展示：https://my.matterport.com/show/?m=nQyfs8EBhdX

（国立科学博物館）

● 国立科学博物館における物理学史関係常設展示の一部閉鎖について

国立科学博物館において、物理学およびその歴史を扱うフロアが、改修工事に伴い、2026年9月8日に閉鎖された。

同フロア（地球館地下3階「自然のしくみを探る」）では、長岡半太郎や湯川秀樹ら日本の物理学者を扱う科学者展示や、理化学研究所「第3号サイクロトロン」イオン加速箱、KEKB加速器・Belle測定器といった、物理学史資料の実物展示などが展開されていた。今後、大規模なリニューアルが予定されている。

（参考URL）

・地球館地下3階「自然のしくみを探る」の閉鎖について：
https://www.kahaku.go.jp/news/nid00005273.html

（国立科学博物館）

●鈴木増雄先生資料目録（仮）について

統計力学・物性理論を専門とし、本会会長・東京大学教授を務めた鈴木増雄（1937-2025）の資料（鈴木が所属していた久保亮五研究室でのセミナーの記録など）の管理について、鈴木研究室出身の西森秀稔氏（東京科学大学）よりご相談を受けた。やはり同研究室出身の香取眞理氏（中央大学）が管理されていた、鈴木の学生時代のノート類などと併せて、いったん学会でお預かりし、それらの存在について告知するとともに、簡易版の目録作成などを行うこととした。

同資料の仮目録は以下の通り（主にノート類、33点。表紙に書かれた内容をもとに作成）。

鈴木増雄先生資料目録（仮）

書籍　久保亮五　統計力学　共立全書11　‘May 20, 1961 R. Kubo’の署名　〔May 20, 1961は鉛筆書き〕

コロキュームⅠ　久保研　鈴木増雄　A5

コロキューム　6　（土曜日）　38.1.26～　東大・理・物理　鈴木増雄　B5

数理物理学　鈴木増雄 B5

数学演習　(ゼミナール)　数学概論 II　東京大学　理一・六組　(no.3220)　鈴木増雄　A5　〔後ろが欠けている〕
電磁気学　東京大学　理学部物理学科物理　鈴木増雄　A5
天文学・地球物理学　東京大学　理学部物理学科物理　鈴木増雄　A5
応用電気　(no. I)　東京大学理学部物理学科物理　鈴木増雄　A5
応用電気 [2]　東大理学部物理　(905)　鈴木増雄　A5
物理実験学　東京大学　理学部物理学科物理　鈴木増雄　A5
第 74 回　1990 (秋季)　東京大学公開講座講義要項――混沌――　財団法人東京大学綜合研究会　冊子
(前が欠けているノート)　束縛条件　仮想変位　平衡条件　…　A5
固体物理学 II　(植村)　no.1　物理 (久保研)　鈴木増雄　A5
光学物性　(小出)　久保研　鈴木増雄　A5
磁性　(Bozorth)〔?〕　鈴木増雄　B5
物性論　鈴木増雄　B5　〔2 つに割れている〕
電磁流体力学　鈴木増雄　B5
流体　弾性　東大物理学科物理　鈴木増雄　B5
原子核物理 II　理学部物理学科　鈴木増雄　B5
光学 (1)　(2) も含む　東京大学理学部物理学科物理　(905)　鈴木増雄　B5
プラズマ　(金)　Friday　鈴木増雄　B5
電磁気学 II　東京大学理学部物理学科物理　(905)　鈴木増雄　B5
光学特論　鈴木増雄　B5
原子核物理 I　(宮本 2) (no.2)　鈴木増雄　B5
原子核物理〔I〕　(宮本) (no.1)　東大物理学科物理　鈴木増雄　B5
Nuclear Physics 鈴木増雄　B5
応用解析 I　(2)　東京大学理学部物理学科物理　(905)　鈴木増雄　B5
原子分子理論　東京大学理学部　物理学科物理　鈴木増雄　B5
場の理論〔I〕　鈴木増雄　B5
数理物理学　鈴木増雄　B5
場の理論〔2〕　久保研　鈴木増雄　B5　〔背表紙一部外れている〕
素粒子論　理学部物理学科　鈴木増雄　B5
応用解析 I　(1)　東京大学理学部　物理学科物理　(905)　鈴木増雄　B5

(岡本拓司委員)

●西川正治の X 線分光計

1977 年に国立科学博物館で「数学・物理 100 年の歩み展」が開催されたさい、出品された展示資料の一つに「ブラック型 X 線分光器」があった。本資料は、西川正治が理研で製

作し、のちに菊池正士や沢田昌雄が大阪大学で使用したと伝わるもので、大阪府立大学の塘賢二郎が保管していた。

この分光器の存在はその後忘れられていたと思われるが、上記の展示について調査をおこなう過程で、展示終了後に国立科学博物館に寄贈されたことが判明した。2026 年 8 月現在、本資料は収蔵庫で保管されていることが確認されている。

なお上記の展示については、会誌 9 月号の「歴史の小径」記事を参照していただきたい。

（有賀暢迪委員）

●流体物理学者・今井功の個人資料

今井功（1914–2004）は戦後日本において流体力学の第一人者であった物理学者である。今井の遺した個人資料は長らく関係者の手で保管されていたが、現在は孫弟子にあたる永田裕作氏（日本文理大学）が正式に所有するに至っている。

今井功資料は文書箱約 30 箱の分量があり、研究ノートや講義ノート、論文のコピー、著書と翻訳書、国内外の会議資料、研究者や編集者からの手紙などが含まれている。科学史の研究等に利用したい場合は、所有者の永田氏に問い合わせてもらいたい。

（有賀暢迪委員）